



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社  
コード番号 6460 URL <http://www.segasammy.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務担当部長  
四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 里見 治  
(氏名) 清水 俊一  
配当支払開始予定日

TEL 03-6215-9955  
平成23年12月2日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	152,602	29.9	15,181	67.6	14,716	68.1	3,980	83.7
23年3月期第2四半期	217,807	41.1	46,849		46,098		24,349	

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 11,285百万円 (61.8%) 23年3月期第2四半期 29,522百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	15.79	15.77
23年3月期第2四半期	96.66	96.66

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	460,919	282,907	60.8
23年3月期	458,624	285,461	60.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 280,140百万円 23年3月期 275,193百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期		20.00		20.00	40.00
24年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	440,000	10.9	77,000	12.0	75,500	10.8	38,000	8.5	151.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	266,229,476 株	23年3月期	266,229,476 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	15,087,016 株	23年3月期	14,504,662 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	252,053,455 株	23年3月期2Q	251,912,035 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成23年11月1日にアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(映像並びに音声)については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報(その他)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
(4) 追加情報	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) セグメント情報等	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
売上高	154,395	217,807	152,602	△65,205	△29.9
営業利益	△318	46,849	15,181	△31,668	△67.6
経常利益	△729	46,098	14,716	△31,381	△68.1
四半期純利益	△6,323	24,349	3,980	△20,369	△83.7
	円	円	円	円	%
一株当たり四半期純利益	△25.10	96.66	15.79	△80.87	△83.7

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、部材調達への懸念や、長期化が見込まれる電力供給不足への対応など、様々な影響を受けたことから、先行きが不透明な状況となりました。

このような状況の中、遊技機業界におきましては、サプライチェーンが寸断されるといった影響を受け、市場全体の新台幣入替は一時的に低調に推移いたしました。しかしながら、一部の有力なタイトルの受注等が堅調に推移するとともに、パチンコホールにおける稼動回復もみられるなど、震災からの回復の兆しがあらわれております。

アミューズメント業界におきましては、消費者の嗜好が身近なエンタテインメントに向けたことなどにより市場が堅調に推移しており、今後の施設運営者の投資意欲向上が期待されております。

家庭用ゲーム業界におきましては、個人消費の低迷等によって、主に欧米市場での需要が低調に推移いたしました。一方で、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)やスマートフォン向けなどの新たなコンテンツ市場における需要が拡大しており、このような市場環境の変化への対応が求められております。

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,526億2百万円(前年同期比29.9%減)、営業利益は151億81百万円(前年同期比67.6%減)、経常利益は147億16百万円(前年同期比68.1%減)となりました。負ののれん発生益など特別利益を11億3百万円計上し、特許実施許諾解決金など特別損失を53億57百万円を計上した結果、四半期純利益は39億80百万円(前年同期比83.7%減)となりました。

なお、当社と、当社の完全子会社であるサミー株式会社及びサミー株式会社の子会社であるタイヨーエレクトリック株式会社は、当社の普通株式を対価として、サミー株式会社を株式交換完全親会社、タイヨーエレクトリック株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を、平成23年8月1日を効力発生日として行っております。

また、当社は平成23年8月1日開催の取締役会において自己株式の取得について決議し、平成23年8月1日から平成23年9月5日の間に、取得しうる株式の総数の上限である5,000,000株(取得価額82億80百万円)を取得いたしました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

《遊技機事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	68,311	134,234	74,851	—	—
セグメント間売上高	142	97	67	—	—
売上高合計	68,453	134,331	74,918	△59,413	△44.2
営業利益	10,897	47,694	20,631	△27,062	△56.7
	台	台	台	台	%
パチンコ販売台数	167,715	198,230	181,589	△16,641	△8.4
パチスロ販売台数	57,038	201,402	52,769	△148,633	△73.8

パチンコ遊技機事業におきましては、サミーブランド『ぱちんこCR ALADDIN NEO 小さな皇女と天魔の都』や『デジハネCR北斗の拳 慈母（ユリア）』及び『ぱちんこCR北斗の拳 金色（ファルコ）』などの販売が堅調に推移した結果、パチンコ遊技機全体で181千台を販売いたしました。

パチスロ遊技機事業におきましては、ロデオブランド『旋風の用心棒～胡蝶の記憶～』やサミーブランド『パチスロ快盗天使ツインエンジェル3』及びタイヨーエレクトリックブランド『銀と金』の販売が堅調に推移いたしましたが、当期主力タイトルの投入が下期に計画されている事により、販売台数は52千台となりました。

また、引き続き液晶を中心としたリユース（再利用）等に取り組みました。

以上の結果、売上高は749億18百万円（前年同期比44.2%減）、営業利益は206億31百万円（前年同期比56.7%減）となりました。

遊技機の主要販売機種名及び販売台数

パチンコ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
ぱちんこCR ALADDIN NEO 小さな皇女と天魔の都	（サミー）	57千台
デジハネCR北斗の拳 慈母（ユリア）	（サミー）	20千台
ぱちんこCR北斗の拳 金色（ファルコ）	（サミー）	15千台

パチスロ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
旋風の用心棒～胡蝶の記憶～	（ロデオ）	23千台
パチスロ快盗天使ツインエンジェル3	（サミー）	12千台
銀と金	（タイヨーエレクトリック）	9千台

## 《アミューズメント機器事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	17,971	19,641	19,339	—	—
セグメント間売上高	1,221	1,347	1,251	—	—
売上高合計	19,192	20,988	20,591	△397	△1.9
営業利益	△737	1,917	1,591	△326	△17.0

アミューズメント機器事業におきましては、『セガネットワーク対戦麻雀 MJ5』の販売が堅調に推移したほか、アミューズメント施設市場の回復を受けて、カード等の消耗品販売が好調に推移いたしました。また、『ボーダーブレイク』などのレベニューシェアタイトルの稼動による配分収益が引き続き堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は205億91百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は15億91百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

## アミューズメント機器の主要販売タイトル名及び販売実績

タイトル名		販売実績
セガネットワーク対戦麻雀 MJ5	ビデオゲーム	26億円
「ボーダーブレイク」シリーズ	ビデオゲーム	12億円
WORLD CLUB Champion Football Intercontinental Clubs シリーズ	トレーディングカードゲーム	10億円

※販売実績は、カード等の消耗品販売やレベニューシェアタイトルの稼動による配分収益等を含んでおります。

## 《アミューズメント施設事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	28,930	23,648	23,247	—	—
セグメント間売上高	17	0	0	—	—
売上高合計	28,948	23,648	23,247	△402	△1.7
営業利益	223	1,105	1,684	579	52.4
	店舗	店舗	店舗	店舗	%
国内アミューズメント施設数	277	252	248	—	—
(参考)	%	%	%		
セガ国内既存店舗売上高前年同期比	92.3	99.9	101.2	—	—

アミューズメント施設事業におきましては、既存店舗の運営力強化を行ったことに加え、消費者の嗜好が身近なエンタテインメントに向けたことから、セガ国内既存店舗の売上高は、前年同期比101.2%と堅調に推移いたしました。なお、3店舗の閉店を行う一方で新規出店を3店舗行った結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は248店舗となりました。

以上の結果、売上高は232億47百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は16億84百万円（前年同期比52.4%増）となりました。

## 《コンシューマ事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	37,652	38,701	33,485	—	—
セグメント間売上高	148	197	324	—	—
売上高合計	37,801	38,898	33,810	△5,088	△13.1
営業利益	△8,193	△1,306	△6,004	△4,697	—
	万本	万本	万本	万本	%
ゲームソフト販売本数	540	660	484	△175	△26.6

コンシューマ事業におきましては、家庭用ゲームソフト事業において、海外市場向けタイトル『Captain America: Super Soldier』及び国内市場向けタイトル『J. LEAGUE™ プロサッカークラブをつくろう! 7 EURO PLUS』など、複数のタイトルを販売いたしました。国内での販売は概ね堅調に推移いたしました。海外においては、厳しい市場環境を受けて新作販売が低調に推移いたしました。以上の結果、ゲームソフト販売本数は、米国165万本、欧州212万本、日本・その他106万本、合計484万本となり、前年同期実績を下回りました。

携帯電話・スマートフォン・PC向けコンテンツ事業におきましては、iOS向けタイトルの『Kingdom Conquest』が累計160万ダウンロードを突破いたしました。

玩具販売事業におきましては、『アンパンマンシリーズ』や『ジュエルポッド』などの販売に取り組ましました。

アニメーション映像事業におきましては、劇場第15弾『名探偵コナン』のヒットによる配分収入や、『アンパンマン』のロイヤリティ収入などが堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は338億10百万円（前年同期比13.1%減）、営業損失は60億4百万円（前年同期は営業損失13億6百万円）となりました。

## ゲームソフトの主要販売タイトル名及び販売本数

タイトル名	販売地域	プラットフォーム	販売本数
Captain America: Super Soldier	米・欧	PS3, Xbox360, Wii, DS	45万本
RISE OF NIGHTMARES	日・米・欧	Xbox360	20万本
J. LEAGUE™ プロサッカークラブをつくろう! 7 EURO PLUS	日	PSP	20万本

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、平成23年10月31日公表の「第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。



2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成22年6月30日企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成22年6月30日企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間においては、これによる影響はありません。

(会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

① 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成21年12月4日企業会計基準第24号)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成21年12月4日企業会計基準適用指針第24号)を適用しております。

② 当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	149,006	167,542
受取手形及び売掛金	56,468	45,270
有価証券	42,412	18,901
商品及び製品	5,889	7,199
仕掛品	14,916	19,347
原材料及び貯蔵品	15,567	20,827
その他	31,792	25,681
貸倒引当金	△472	△398
流動資産合計	315,580	304,371
固定資産		
有形固定資産		
土地	24,643	23,884
その他(純額)	32,497	33,475
有形固定資産合計	57,140	57,359
無形固定資産		
のれん	15,559	13,682
その他	7,195	8,602
無形固定資産合計	22,754	22,284
投資その他の資産		
投資有価証券	44,193	59,758
その他	20,338	18,452
貸倒引当金	△1,382	△1,307
投資その他の資産合計	63,149	76,903
固定資産合計	143,044	156,547
資産合計	458,624	460,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,513	40,653
短期借入金	2,857	7,948
未払法人税等	26,310	5,181
引当金	3,473	2,803
資産除去債務	185	176
その他	38,687	28,742
流動負債合計	109,028	85,506
固定負債		
社債	29,608	28,557
長期借入金	5,316	30,639
退職給付引当金	12,656	13,094
役員退職慰労引当金	1,203	272
資産除去債務	1,848	1,919
その他	13,501	18,020
固定負債合計	64,135	92,504
負債合計	173,163	178,011
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	119,784	119,389
利益剰余金	164,669	163,671
自己株式	△25,329	△25,895
株主資本合計	289,077	287,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,350	20,029
繰延ヘッジ損益	△0	△4
土地再評価差額金	△5,969	△5,969
為替換算調整勘定	△19,264	△21,034
その他の包括利益累計額合計	△13,883	△6,977
新株予約権	406	706
少数株主持分	9,861	2,060
純資産合計	285,461	282,907
負債純資産合計	458,624	460,919

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	217,807	152,602
売上原価	121,269	89,658
売上総利益	96,538	62,943
販売費及び一般管理費	49,688	47,762
営業利益	46,849	15,181
営業外収益		
受取利息	233	165
受取配当金	219	268
持分法による投資利益	55	—
デリバティブ評価益	4	—
投資事業組合運用益	2	421
その他	263	297
営業外収益合計	778	1,152
営業外費用		
支払利息	333	261
持分法による投資損失	—	19
デリバティブ評価損	—	109
社債発行費	—	84
為替差損	294	313
支払手数料	350	417
その他	551	411
営業外費用合計	1,529	1,617
経常利益	46,098	14,716
特別利益		
固定資産売却益	23	0
関係会社株式売却益	—	61
貸倒引当金戻入額	180	—
原状回復費戻入益	139	—
債務時効益	62	—
新株予約権戻入益	1,067	—
過年度特許料分配収入	1,139	—
負ののれん発生益	—	836
その他	232	206
特別利益合計	2,845	1,103
特別損失		
固定資産売却損	39	1
減損損失	807	1,060
投資有価証券評価損	268	37
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,178	—
特許実施許諾解決金	—	3,500
その他	1,369	757
特別損失合計	3,662	5,357

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
税金等調整前四半期純利益	45,281	10,463
法人税、住民税及び事業税	18,745	6,081
法人税等合計	18,745	6,081
少数株主損益調整前四半期純利益	26,536	4,381
少数株主利益	2,186	401
四半期純利益	24,349	3,980
少数株主利益	2,186	401
少数株主損益調整前四半期純利益	26,536	4,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,699	8,683
繰延ヘッジ損益	22	△4
為替換算調整勘定	△1,728	△1,771
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△3
その他の包括利益合計	2,986	6,903
四半期包括利益	29,522	11,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,376	10,885
少数株主に係る四半期包括利益	2,146	399

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	遊技機事業	アミューズメント 機器事業	アミューズメント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	134,234	19,641	23,648	38,701	216,226	1,581	217,807
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	97	1,347	0	197	1,641	459	2,101
計	134,331	20,988	23,648	38,898	217,867	2,040	219,908
セグメント利益又は損失(△)	47,694	1,917	1,105	△1,306	49,411	180	49,591

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報提供サービス業などを含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	49,411
「その他」の区分の利益	180
セグメント間取引消去	△51
全社費用(注)	△2,690
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	46,849

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	遊技機事業	アミューズメント 機器事業	アミューズメント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	74,851	19,339	23,247	33,485	150,923	1,679	152,602
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	67	1,251	0	324	1,643	452	2,096
計	74,918	20,591	23,247	33,810	152,566	2,131	154,698
セグメント利益又は損失(△)	20,631	1,591	1,684	△6,004	17,903	248	18,152

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報提供サービス業などを  
含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及  
び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,903
「その他」の区分の利益	248
セグメント間取引消去	△19
全社費用(注)	△2,951
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	15,181

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	29,953	119,784	164,669	△25,329	289,077
当第2四半期連結累計期間の変動額					
剰余金の配当			△5,034		△5,034
四半期純利益			3,980		3,980
株式交換による増加 (注) 1		△394		7,724	7,329
自己株式の取得 (注) 2				△8,291	△8,291
自己株式の処分		△0		1	1
連結範囲の変動			55		55
当第2四半期連結累計期間の変動額合計	—	△394	△998	△565	△1,958
当第2四半期連結会計期間末残高	29,953	119,389	163,671	△25,895	287,118

(注) 1 平成23年5月13日開催の取締役会決議により、平成23年8月1日にタイヨーエレクト(株)を株式交換完全子会社とする株式交換を行い、自己株式が4,423,546株減少しております。

2 主な内容は、平成23年8月1日開催の取締役会決議による自己株式8,280百万円(5,000,000株)の取得であります。

なお、本決議の概要は以下のとおりであります。

- (1) 取得する株式の種類 普通株式
- (2) 取得する株式の総数 5,000,000株(上限とする)
- (3) 株式の取得価額の総額 10,000百万円(上限とする)
- (4) 取得する期間 平成23年8月1日から平成23年10月31日まで